

（2015ソウルインディドキュメンタリーフェスティバル）（2015ソウル人権映画祭）（2015全州女性映画祭）（2015仁川女性映画祭）

## <SWANY-1989年, 日本遠征闘争の記録>上映会

# SWANY

1989年, 日本遠征闘争の記録

監督 DooHee Oh | 2014 | KOREA | Documentary | HD | Color | 69min

80年代末、突然職場を失った若い女性労働者の日本遠征闘争  
100余日をと共に闘った日本の労働者と在日僑胞たちの話



韓国のアジアスワニ  
雇傭を撤回せよ！  
採業を再開せよ！

<SWANY>上映会実行委員会 平和の風



# <SWANY-1989年, 日本遠征闘争の記録> 四国の小さな町に彼女たちの叫びが轟いた

1989年12月末、5人のアジアスワニー労組闘争団が日本にやってきた。

ファックス1枚での工場閉鎖・全員解雇に、止むに止まれぬ決意を持って、「この世に労働者として生まれたことを恥じていた時代は終わった、韓国の労働者を牛馬のようにこき使い、ぼろ紙を捨てるように不法投棄した悪らつな資本家三好鋭郎に踏みにじられた韓民族の自尊心を取り戻すための歴史的な大闘争を繰り広げる」との決議文を携えて。

国に残って闘う組合員は、「12年間収奪を重ねてきた外貨企業の横暴と蛮行を、これ以上許すことはできず、執行部幹部の健康を祈り、勝利のその日まで共に闘うことを決議する」との決議文を持って闘争団を送り出した。

彼女たちは、働く者の尊厳と生存権を守るため、スワニー日本本社と闘い勝利するために来日した。韓国の労組が来日して闘うことも初めて、支援する日本側も初めての経験であった。来日翌日から香川県白鳥町のスワニー本社での交渉と闘いがスタートした。闘争団の士気は高く、彼女たちへの共感と感動は支援の陣形は日を追って広がった。労働組合、在日民族団体、女性団体、儒教者、反原発など様々な市民民衆運動を網羅する闘いに広まった。それらを繋ぐものこそ、凛として闘うスワニー労組の年若き女性たちのひた向きさだった。3月中旬までの闘いを終え、勝利、解決、調印式で、闘争団はスワニー三好社長に対して、「今度、新たな進出先の中国から撤退したら許さない」と宣言し仲間の元に帰っていった。

この闘いによって結ばれた日韓の労働者の連帯は、25年経った今も生き活きと続けられています。この闘いはなんとしても後輩たちに伝えなければならないと思い、日本の多くの関係者たちにインタビューをした内容を加えて制作しました。是非多くの労働者に見て頂き、韓国と日本の労働者の国境を越えた同志愛を感じて頂きたいと思えます。

監督 オ・ドウヒ

ソウルの映画館で見ました。もう内容を理解できる歳になった娘(イ・ジョンヒ)も連れて行きました。突然舞台上に上げられ、何か話しをするように言われましたが、涙ばかり出て何を話したのかよく憶えていません。娘は「話しには聞いていたが、お母さんは本当に大変な闘いをしたんだね」と言っていました。

アジアスワニー労組委員長 ヤン・ヒスク



## 大阪上映会

入場整理券 ¥1,000

2015年8月7日(金) 18:00~

エルおおさか南館5Fホール

京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

## 兵庫上映会

入場整理券 ¥1,000

2015年8月8日(土) 14:00~

神戸市勤労会館308

三宮駅から東へ徒歩5分

## 四国上映会

2015年8月9日(日)

時間調製中  
会場 未定

### ■ 主催

アジアスワニー上映会実行委員会  
日韓民主労働者連帯

### ■ 問い合わせ先

全日本港湾労働組合

関西地方本部大阪支部

〒5520021 大阪市港区築港1-12-27

TEL 06-6575-3131

### ■ 賛同金ご協力のお願い

団体 □ 3,000円 個人 □ 1,000円

郵便振替 00970-7-315768

〒550-0021

大阪市西区川口2-4-2生コン会館3階

日韓民主労働者連帯